

中国 夏の干ばつと洪水が青果物生産者を襲う

FreshPlaza 2023年8月18日

この記事の執筆時点で、中国の多くの地域で気温がまだ高い。天気予報によると、20以上の省で、気温が30度、湿度が50%を超える「サウナ日」が長く続くと警告されている。気象情報サイト ChinaWeather.com は、大都市について、サウナ日になる場所と、身を守るために取るべき予防措置を示す高温チェックカレンダーの提供を開始した。高温と湿度の組み合わせは、暑さを「耐え難い」ものにする。

高温は暑さだけでなく、通常気温や降水量からの逸脱による干ばつや洪水ももたらす。河北省、北京、天津市などがある北部では、8月前半に大雨と洪水により、少なくとも20人が死亡し、数百人が避難した。

この地域、いわゆる中国の「野菜バスケット」は、中国の野菜生産にとって重要である。洪水の後、中国の農業当局は、野菜栽培への影響を最小限に抑え、安定した供給を確保するため介入した。農業農村部(農業省)は先週、河北省等8つの省に対し、農産物の出荷を支援するための4億3,200万元(6千万ドル)の洪水救援基金を提供すると発表した。(以下、野菜に関する記述を省略)

新疆ウイグル自治区は中国西部の地域である。プルーンの季節が最近始った。この果実は人気があり、この地域の栽培面積は年々拡大している。しかし、春の異常な寒波のために、プルーンの総出荷量は減少し、各果実のサイズは大きくなりすぎた。

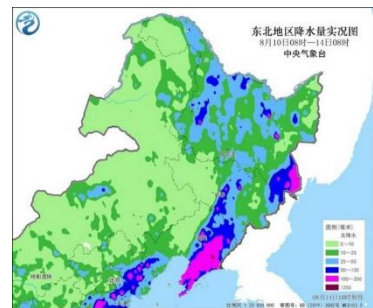
あるプルーン業者はその経験を次のように述べた。「我々の地元では、春節の前に寒波があった。最低気温が数日間連続で-25℃まで下がり、多くの果樹が凍結して枯死した。これに続いて、5月上旬に長期間の降霜があり、かなりの数の果実が凍結した。最後に、ここ数週間の大雨により果実が裂果している。」

大雨はまた、四川省の赤肉系のスモモにも被害をもたらした。ある生産者は、「今年の赤肉系で歯触りの良いスモモは8月の初めに市場に出荷した。7月末に猛烈な豪雨があり、その後も雨が降った。これにより、多くの果実が裂果し、過剰な果汁により破裂した。今年の出荷量は50%以上減少すると予想される」と述べた。

水管理は果実と野菜の生産の鍵である。しかし、中国北部と南部で水の分布は不均一であり、一部の果樹産地は干ばつに対して脆弱であり、他方洪水にさらされている産地もある。昨年の夏には極端な干ばつにより、巨大な長江が枯渇し、水力発電が不足した。

政府は、情報管理と栽培指導を通じて生産者を支援しようとしている。農業農村部は、毎日の地域の天気予報とともに詳細な栽培のヒントを掲載している北京華風気象情報サービスセンターを支援している。これは、生産者に事前に通知するための監視・早期警報システムを強化する戦略の一環である。

右図は、華風気象情報サービスセンターが提供する詳細な土壌水分量マップ(訳注:実際は降水量マップ)



湖南省農業農村局は、生産者向けに高温と乾燥した天候への対策の広範なリストを掲載している。

これらは、肥培管理や水管理の強化から、遮光ネットの使用、温室へのミスト噴霧、日焼け防止策として露地の果実と野菜を藁で覆うこと、さらに病気の管理にまで及んでいる。

果樹の場合、同局はまた、追加の土壌や藁で果樹の根元を覆うなど、土壌の保湿と冷却の対策をとることを助言している。

興味深いことに、同省のヒントとアドバイスの広範なリストには、これらの極端な気象条件の最悪の状況に耐えているかもしれない果樹園労働者に対する保護対策は含まれていない。

執筆者: アヌーク・シーモンスマ